

No.	分類	ツール	概要	適用開始
1	プロジェクト マネジメント	プロジェクトリスク 予兆検知	当社が経験した過去のプロジェクトのデータを基に、プロジェクトの進捗に影響を及ぼすリスクのある項目をモデル化し、そのモデルをこれから開始するプロジェクトに適用することで、プロジェクトに含まれるリスクを検知するとともに、そのリスクを回避するための施策を助言します。本ツールを活用することで、プロジェクトのリスクの顕在化を未然に防止することが可能となります。	2018年度 以降順次適用
2		設計書用語自動推敲	推進中のプロジェクトに関連した既存文書から、そのプロジェクト特有の用語や表記ゆれの発生パターンをAIで学習、モデル化し、設計書作成時に入力された用語の誤用や表記ゆれをリアルタイムにチェックすることで、適切な表記ができるように誘導するツールです。本ツールを活用することにより、設計書の作成効率と品質の向上を実現します。	2017年11月
3	上流工程	設計整合性確認	ERP(Enterprise Resources Planning)パッケージの導入は、部品化された大量のプログラムの中からお客様の業務要件に合わせて必要なものを選択する必要があります。本サービスは、豊富なERP導入経験を持つコンサルタントの業務知識をモデル化し、業務要件に適応したプログラム部品の検索を可能にしました。これにより、システム構築のスピードと正確性を向上できます。	2017年11月
4		素材再利用効率化	「PowerPoint」などのプレゼンテーション形式で蓄積されている大量の提案書や要件定義書などのドキュメントから、必要な情報を検索・収集できるサービスです。検索結果は、AI技術によって関連性の高いスライドをまとめたレイアウトで、スライド単位に俯瞰表示できます。また、検索結果のスライドに含まれる言葉から、スライドを絞り込むための言葉を自動生成できるため、必要な情報を素早く収集できます。	2017年11月

No.	分類	ツール	概要	適用開始
5	開発工程	リアルタイム マネジメント	プロジェクトの進捗状況や品質状況をダッシュボード上で可視化し、プロジェクトマネージャーがリアルタイムに把握することを可能にするツールです。SEが利用する定型化された開発環境から、プロジェクトに関連した設計情報、プログラム情報、テスト実施状況等を自動収集し、より詳細な情報を分かりやすく可視化し、プロジェクトの状況をより正確に把握する事で、精度の高いプロジェクト管理が可能になります。	2018年度 以降順次適用
6		ソース診断	プログラムのソースコードのレビュー作業を実施する際、過去のプロジェクトのソースコードをディープラーニングを活用してモデル化することで、ソースコードの読みやすさや変更のしやすさを診断するツールです。従来のソースコードのレビューでは、膨大なソースコードを手で確認していました。本ツールを活用することで、ソースコードの自動確認が可能になると共に、診断結果の中で示された問題点をレビュー担当者が原因分析を行い、効率的に対策を打つことが可能になるため、プログラムの品質向上やレビュー作業の時間短縮を実現することが可能になります。	2017年11月
7		セキュア翻訳	富士通が提供している機械翻訳ソフトウェアに登録されている25分野500万語の専門用語と、富士通社内から集めた業務関連用語600万語を合わせた計1,100万語を翻訳辞書として利用できる自動翻訳サービスです。本サービスは、Microsoft社の「Office」と連携するプラグインツールをインストールすることにより、「Word」や「Excel」、「PowerPoint」などから、ワンクリックでドキュメントの体裁を保った翻訳ができます。	2017年11月
8		運用ログ分析	自動収集したハードウェアやアプリケーション運用時のログ情報から、AIを用いて通常時の稼働状況を常に把握し、通常時とは異なる状況が生じた際に警告を発するツールです。本ツールを活用することで、システム障害の発生につながる予兆をいち早く検知し、障害の発生を防止することが可能になります。また、予兆検知が難しい突発的な障害が発生した際は、通常時と異常時のログを比較分析することで、異常の発生原因や影響範囲を特定し、迅速な対応を可能にします。	2018年度 以降順次適用
9		設計実績資産再利用	プログラムのカスタマイズ要件に対して、豊富な経験を持つソフトウェア開発者の思考をモデル化し、カスタマイズ対象の設計書を網羅的かつ効率的に抽出します。利用者は、カスタマイズする項目、マスタなどの要素を入力することで、どの要素に影響があるかを可視化します。	2017年11月